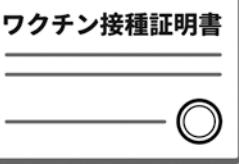




## 海老名市におけるワクチン接種証明書のデジタル化推進について

立憲民主えびな 黒田 三木



問 ワクチン接種証明書のデジタル化について、市ではどのように進めていく方針か伺います。

答 (市長) : 新型コロナワイルスマスクワクチン接種証明書、いわゆるワクチンパスポートのデジタル化については、国から正式な通知はありませんが、報道ではオンラインによる申請、発行とあるため、国の動向を注視してまいります。

問 紙媒体からオンラインでの新しい発行方法になると、どのような利便性の向上が見込まれると想定しますか。

答 (保健福祉部次長) : 市民は申請手続に市役所に出向く必要がなくなり、ワクチンパスポートがスマートフォンへデータ送信され、携帯性も良くなると想定しています。

問 接種証明書を飲食店の利用や旅行の際に活用するほか、イベント参加時には提示を条件にすることなどが検討されていますが、市ではどのように活用をしていきますか。

答 (保健福祉部次長) : 社会経済活動に活用する案もあるので、国内の動向を注視しながら、研究してまいります。

問 ワクチンパスポートの活用で市民の社会活動、経済活動への制限が一定程度緩められることを歓迎しますが、差別や偏見につながることがないよう細心の注意を払っていただきたいと思います。ワクチン接種をしていない市民への配慮はどうのうに想定されていますか。

答 (保健福祉部次長) : ワクチン接種が体質的にできない方もいらっしゃいますので、不公平感が出ないよう国から示される活用方法などを整理し、慎重に対応していきます。

- ・他の質問
- ・海老名市内の民間施設における介護人材の確保について
- ・認知症高齢者への見守り事業について



## 新型コロナウイルス感染症対策について

志政会 永井 浩介



## 新型コロナウイルス感染症対策について

公明党 福地 茂

問 コロナ禍での市民や子どもたちのストレスと体力の低下が危惧されます。2020年1月から11月のデータでは大人の自殺者はもちろん、小中高校生の自殺は1980年以来最多です。本当に痛ましい数字であり、児童虐待の件数もしかりです。感染対策と並行して、できるだけ子どもたちのストレスを取り除かなくてはなりません。

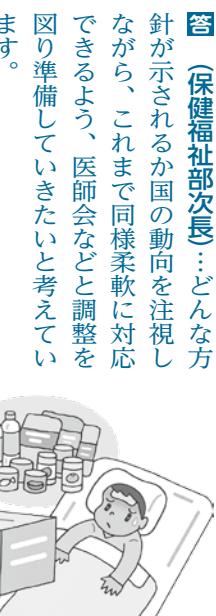
また部活動の対応や小学校の校庭開放について市によつてばらつきがあります。ワクチン接種が進んでいる中、またスポーツをしている最中の感染例がほぼない中で、判断するには難しい部分がありますが、見解を伺います。

答 (教育長) : 学習活動はリモートでもできますが、学校生活はリモートではできません。子どもたちは学校に来て友達と一緒に過ごしたいと欲しています。

その思いを最低限守りたいので、そのための方法として校庭開放や部活動などに制限をかけています。子どもたちは次の時代を生きていくわけですから、毎日学校に来られるためには何をしなければいけないのか、そのためのみならず頑張ろうと、先生たちは子どもたちに問うてほしいのです。課題を投げかけ、自分たちの部活動を続けるため、常に何に気をつける必要があるかを考えさせたほうが、いい勉強になるのではないかと考えています。

社会スポーツ全体の中でもっと食い違いが出ていることはありますが、子どもたちの日常を守ることを中心にして、緊急事態宣言の中でちょっとと障害となるような要素は外す判断をしていきますので、ご理解願いたいと思います。

答 (保健福祉部次長) : 3回目のワクチン接種が検討されていますが、その際の体制づくりはどうのうにお考えか教えてください。



- ・他の質問
- ・生産緑地の2022年問題について
- ・住宅政策について